

「筑波応用言語学研究」の書式（英文）

Hanako Tsukuba

キーワード：書式規定、ページ数、行数、脚注、提出の仕方

1. はじめに

「筑波応用言語学研究」の書式を一致させるため、ある程度書式を規定することにします。

2. 書式規定

2.1 ページ設定

- ◇ 余白は、上 35mm、下、左、右 30mm とする。
- ◇ 行数は 40 行とする。
- ◇ ページ数を A4 サイズの用紙に 14 枚以内にする（厳守）。
- ◇ 注意：ページ番号を挿入しないこと。

2.2 タイトル、副題、筆者名、キーワード

- ◇ タイトルを太文字、中央揃えにし、**Times New Roman 20** のフォントを使う。
- ◇ 副題：**Times New Roman 14**、太文字、中央揃えとする。
- ◇ 筆者名：**Times New Roman 14**、中央揃えとする。
- ◇ キーワード：5 つ以内のキーワードを **Times New Roman 14**、中央揃えとする。

- ◇ タイトルと副題の間は行をあけない。
- ◇ 副題と筆者名との間は 1 行あける。
- ◇ キーワードと文章の間は 2 行あける。

2.3 章

- ◇ 章・節は、太文字、**Times New Roman 14**、小節は太文字、**Times New Roman 12** にする。（「2.3」など数字は半角）
- ◇ 章番号とタイトルの間は全角スペース
Ex. **2.3 先行研究**
- ◇ 章・節・小節の終わりには 1 行あける。（空白行がページ先頭になる場合は空けない、タイトルが最終行に来たら次ページへ）

2.4 文章

- ◇ 文章、数字は **Times New Roman 12** サイズ、両端揃えにする。

2.5 脚注

- ◇ 脚注を **Times New Roman10.5** サイズにし、各ページの最後に挿入する。

2.6 参考文献

- ◇ **Times New Roman10.5** のフォントを使う。
- ◇ 参考文献、資料、辞書等のタイトル括弧は【 】、**Times New Roman10.5**、太字。
- ◇ **【References】** の下は行をあけない。
- ◇ 複数行になる場合は8字程度あける(ぶらさげインデント使用)。
- ◇ 発行年の括弧は半角()にする。
- ◇ 外国語と日本語の文献は一行あけて分けて記載。

2.6.1 参考文献の書き方

(文末から一行空けて)

【References】

Haegemen, Liliane (1994) *Introduction to Government and Binding Theory*, 2nd ed. Blackwell Publishers.

影山太郎(1993)『文法と語形成』ひつじ書房

長谷川信子(1999)『生成日本語学入門』大修館書店

3. おわりに

書式についてはご不明な点がございましたら、係までお願いします。
提出された原稿はそのまま印刷されますので、各自で書式や誤字、脱字など注意して下さいますようお願い致します。

〈表・図について〉

Table 1 被験者のプロフィール

A	25	男性会社員
B	40	女性主婦

- ◆ 表題は表の上に、本文から一行あける
- ◆ 文字は、**Times New Roman12**、**太文字**

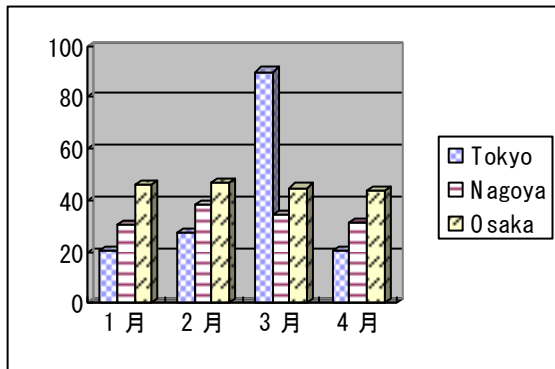


Figure 1 語彙の使用変化

- ◆ 図のタイトルは図の下。本文とは一行あける。
- ◆ 文字は、**Times New Roman12、太文字**
- ◆ 図は鮮明に（なるべくエクセル、ワードで作成してください）